

#### 4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (2/4時)

##### 教師と児童のやり取りの詳細

つかむ段階において、問題を解決するための情報を整理しながら、前時の平均の考えを活用した解決方法の見通しをもたせる場面。

※学習の導入の際、前回の1の問題のオレンジが入った箱の挿絵を提示する。



これは、前回の1の問題のオレンジです。今日の問題はどうなると思いますか？「全部しぼると…」に続けて考えましょう。(問題の続きを児童に考えさせていく)

どれくらいの量のジュースができるでしょうか。



何 mL のジュースができるでしょうか。



実際に全部しぼることができないのですが、大体何 mL のジュースができるか考えられないでしょうか？(問題文を提示してもよい)

計算して考えることができますと思います。



このままでは、計算できないと思います。



できると思う人とできないと思う人に分かれているようですね。では、今日のめあては、どうしましょうか？(児童の言葉を基に、めあてをつくっていく)

**例** めあて：全部のジュースの量を求める方法を考えよう。



なぜ、「このままでは、計算できない」と思った友達がいたのでしょうか。分かっていることや求めることを整理してみましょう。(児童の発言を板書していく)

分かっていることは、オレンジが 20 個あることです。



求めることは、20 個全部のジュースの量です。



オレンジ 1 個分のジュースの量が分からないので、計算できないと思いました。



・問題や解決方法を予想させたり、問題を解決するための情報を整理させたりすることで、問題場面を捉えたり、解決の見通しをもったりできるようにしていきます。児童の気付きや考えを取り上げていくことが大切です。

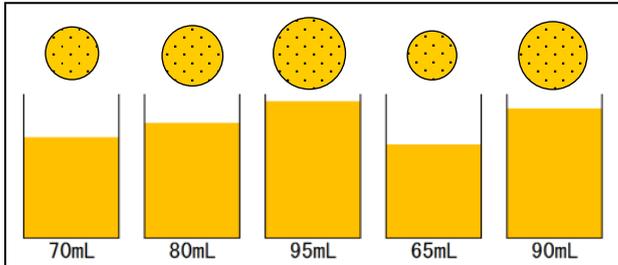


オレンジ1個分？オレンジ1個分のジュースの量は、分かりますか？

この前の学習で、1個ずつしぼったジュースの量があります。



そうでしたね。この前の1個分のジュースの量は・・・  
(前回の挿絵を見せて、1個分の量が、それぞれ違うことに着目させていく)



70mL、80mL、95mL、65mL、90mL・・・  
ばらばらです。



そういえば、それぞれのジュースの量がちがいました。



1個分を70mLで考えますか？80mLで考えますか？  
それとも、95mL、65mL、90mLで考えますか？

オレンジによって全体の量も変わります。どうしたら・・・



そうですね。1個分の量が、ばらばらですね。どうしましょうか？

この前の学習で求めた80mLで考えるといいと思います。



□□さんは、どうして80mLで考えるといいと思ったのでしょうか？

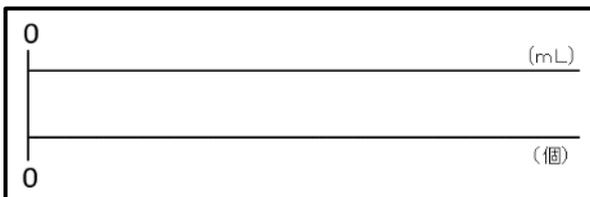
ばらばらだった量をならした平均80mLで考えようと思ったからです。



どのオレンジも80mLしぼることができると考えているのだと思います。



(平均80mLを板書する)では、前回の学習を生かして考えてみましょう。  
言葉やこの図を使って求めた方法を説明できると素晴らしいです。



1個80mLが20個分だから・・・



あ、かけ算になりそうだ。



・オレンジ1個ずつのジュースの量が異なる場面を提示することで、1個のジュースの量を定める必要性を感じさせます。そして、前時の学習の1個から絞れるジュースの量の平均(80mL)を用いて考えることに気付かせるような発問をしていきます。